

Cisco ISE のインストール

- CIMC を使用した Cisco ISE のインストール (1ページ)
- ・セットアッププログラムの実行 (4ページ)
- •インストールプロセスの確認 (8ページ)

CIMC を使用した Cisco ISE のインストール

この項では、Cisco ISE を簡単にインストールするための基本的なインストール手順を提供します。

始める前に

- 本書で指定されているとおりにシステム要件を満たしていることを確認します。
- (オプション: Cisco ISE を仮想マシンにインストールする場合にのみ必要) 仮想マシンを 正常に作成したことを確認します。詳細については、次のトピックを参照してください。
 - VMware サーバの設定
 - KVM への Cisco ISE のインストール
 - Hyper-V での Cisco ISE 仮想マシンの作成
- (オプション: Cisco ISE を SNS ハードウェア アプライアンスにインストールするときにのみ必要) Cisco Integrated Management Interface (CIMC) 設定ユーティリティを設定して、アプライアンスを管理し、BIOS を設定していることを確認します。詳細については、次のマニュアルを参照してください。
 - SNS3400 シリーズ アプライアンスについては、『Cisco SNS-3400 Series Appliance Hardware Installation Guide』を参照してください。
 - SNS3500 シリーズ アプライアンスについては、『Cisco SNS-3500 Series Appliance Hardware Installation Guide』を参照してください。

ステップ1 Cisco ISE を次のものにインストールするには、

- Cisco SNS アプライアンス:ハードウェア アプライアンスをインストールします。サーバ管理用の CIMC に接続します。
- ・仮想マシン: VM が正しく設定されていることを確認します。Cisco ISE を VMware VM にインストー ルする場合、OVA テンプレートを使用します。
- **ステップ2** Cisco ISE ISO イメージをダウンロードします。Cisco ISE を VMware VM にインストールするには、OVA テンプレートをダウンロードします。OVA テンプレートのデプロイメントの詳細については、「OVA テンプレートを使用した仮想マシンへの Cisco ISE のデプロイメント」を参照してください。
 - (注) ISE 2.2 OVA テンプレートは、vCenter 6.5 の VMware Web クライアントとの互換性がありません。
 回避策として、VMware OVF ツールを使用して、このテンプレートをインポートします。
 - a) http://www.cisco.com/go/ise にアクセスします。このリンクにアクセスするには、有効な Cisco.com ログ イン クレデンシャルが事前に必要です。
 - b) [ソフトウェアダウンロード (Download Software for this Product)]をクリックします。

Cisco ISE イメージには、90 日間の評価ライセンスがすでにインストールされた状態で付属しているため、インストールおよび初期設定が完了すると、すべての Cisco ISE サービスのテストを開始できます。

ステップ3 アプライアンスまたは仮想マシンを起動します。

• Cisco SNS アプライアンス。

- 1. CIMC に接続し、CIMC クレデンシャルを使用してログインします。
- 2. KVM コンソールを起動します。
- **3.** [仮想メディア(Virtual Media)]>[仮想デバイスのアクティブ化(Activate Virtual Devices)]の順 に選択します。
- **4.** [仮想メディア(Virtual Media)]>[CD/DVDのマッピング(Map CD/DVD)] の順に選択し、ISE ISO イメージを選択して [デバイスのマッピング(Map Device)] をクリックします。
- 5. [マクロ(Macros)]>[静的マクロ(Static Macros)]>[Ctrl-Alt-Del]の順に選択して、ISE ISO image でアプライアンスを起動します。
- 6. F6を押して、ブートメニューを起動します。次のような画面が表示されます。

```
図1:ブート デバイスの選択
```

↑ and ↓ to move selection ENTER to select boot device ESC to boot using defaults

- (注) SNSアプライアンスがリモートロケーション(データセンターなど)に配置されている 場合で、その場所に対する物理的なアクセス権がなく、リモートサーバから CIMC イン ストールを実行する必要がある場合、インストールに時間がかかることがあります。イ ンストールプロセスを高速化するために、USB ドライブに ISO ファイルをコピーし、そ のリモートの場所で使用することをお勧めします。
- ・仮想マシン。
- 1. CD/DVD を ISO イメージにマッピングします。次のような画面が表示されます。次のメッセージ とインストール メニューが表示されます。

Welcome to the Cisco Identity Services Engine Installer Cisco ISE Version: 2.2.0.xxx

Available boot options: Cisco ISE Installation (Serial Console) Cisco ISE Installation (Keyboard/Monitor) System Utilities (Serial Console) System Utilities (Keyboard/Monitor)

ステップ4 シリアル コンソールを使用して Cisco ISE をインストールするには、ブート プロンプトで1 および Enter キーを押します。 キーボードとモニタを使用する場合は、矢印キーを使用して、[Cisco ISE のインストール(シリアル コン ソール) (Cisco ISE Installation (Serial Console))]オプションを選択します。次のメッセージが表示されま す。

- **ステップ5** プロンプトで、setup と入力し、セットアップ プログラムを起動します。セットアップ プログラム パラ メータの詳細については、「セットアップ プログラムの実行 (4 ページ)」を参照してください。
- ステップ6 セットアップモードでネットワーク設定パラメータを入力すると、アプライアンスが自動的に再起動し、 シェル プロンプト モードに戻ります。
- ステップ1 シェルプロンプトモードを終了します。アプライアンスが起動します。
- **ステップ8** 「インストール プロセスの確認 (8ページ)」に進みます。

セットアップ プログラムの実行

ここでは、ISE サーバを設定するためのセットアップ プロセスについて説明します。

セットアッププログラムでは、必要なパラメータの入力を求める、対話型のコマンドライン インターフェイス(CLI)が起動されます。管理者は、コンソールまたはダム端末とセットアッ プログラムを使用して、ISEサーバの初期ネットワークを設定し、初期管理者資格情報を設 定します。このセットアッププロセスは一度だけ実行する設定作業です。

(注) Active Directory (AD) と統合する場合は、ISE 専用に作成された専用サイトから IP アドレス とサブネット アドレスを使用することをお勧めします。インストールと設定を行う前に、AD を担当する組織のスタッフに相談し、ISE ノードの関連する IP アドレスとサブネット アドレ スを取得します。

セットアップ プログラムを実行するには、次の手順を実行します。

ステップ1 インストール用に指定されているアプライアンスをオンにします。

次のセットアッププロンプトが表示されます。

Please type 'setup' to configure the appliance localhost login:

ステップ2 ログイン プロンプトで setup と入力し、Enter を押します。

コンソールにパラメータのセットが表示されます。次の表の説明に従って、パラメータ値を入力する必要 があります。

表 1: Cisco ISE セットアップ プログラム パラメータ

プロンプト	説明	例	
Hostname	 19 文字以下にする必要がありま す。有効な文字には、英数字 (A-Z、a-z、0-9)、およびハイ フン(-)などがあります。最初の 文字は文字である必要がありま す。 (注) Cisco ISE の証明書認証 が、証明書による検証の わずかな違いの影響を受 けないようにするために 小文字を使用することを お勧めします。ノードの ホスト名として 「localhost」を使用する ことはできません。 	isebeta1	
(eth0) Ethernet interface address	ギガビットイーサネット0 (eth0) インターフェイスの有効な IPv4ア ドレスアドレスでなければなりま せん。	10.12.13.14	
Netmask	有効なIPv4のネットマスクでなけ ればなりません。	255.255.255.0	
Default gateway	デフォルトゲートウェイの有効な IPv4アドレスアドレスでなければ なりません。		
DNS domain name	IP アドレスは入力できません。有 効な文字には、ASCII 文字、任意 の数字、ハイフン(-)、およびピ リオド(.)が含まれます。	example.com	
Primary name server	プライマリネームサーバの有効な IPv4アドレスアドレスでなければ なりません。	10.15.20.25	
Add/Edit another name server	プライマリネームサーバの有効な IPv4アドレスアドレスでなければ なりません。	(オプション)複数のネームサー バを設定できます。これを行うに は、 y を入力して続行します。	

I

プロンプト	説明	例	
Primary NTP server	有効なネットワークタイムプロト コル (NTP) サーバの IPv4 アドレ スアドレスまたはホスト名でなけ ればなりません。 (注) プライマリ NTP サーバ がアクセス可能であるこ とを確認してください。	clock.nist.gov	
Add/Edit another NTP server	有効なNTPドメインでなければな りません。	(オプション)複数のNTPサーバ を設定できます。これを行うに は、 y を入力して続行します。	

プロンプト	説明	例
System Time Zone	 有効な時間帯でなければなりません。たとえば、太平洋標準時(PST)では、システム時間帯は PST8PDTです(つまり、協定世界時(UTC)から8時間を差し引いた時間)。 (注)システム時刻とタイム ゾーンがCIMCまたはハイパーバイザホストののS時刻およびタイム ゾーンと一致していることを確認します。タイム ゾーンと一致していることを確認します。タイム ブーン間に不一致がある場合、システムパフォーマンスが影響を受ける可能性があります。 サポートされているタイムゾーンのすべてのリストについては、Cisco ISE CLIから show timezonesコマンドを実行できます。 (注)すべての Cisco ISE ノードを UTC タイム ゾーン に設定することをお勧めします。このタイムゾーンに設定することをお勧めします。このタイムゾーンに設定することをお勧めします。 	UTC(デフォルト)

プロンプト	説明	例
Username	Cisco ISE システムへの CLI アクセ スに使用される管理者ユーザ名を 特定します。デフォルト (admin) を使用しない場合は、新しいユー ザ名を作成する必要があります。 ユーザ名は、3~8文字の長さで、 有効な英数字 (A~Z、a~z、ま たは0~9) で構成される必要が あります。	admin (デフォルト)
Password	Cisco ISE システムへの CLI アクセ スに使用される管理者パスワード を特定します。デフォルトパス ワードは存在しないため、続行す るにはパスワードを作成する必要 があります。パスワードの長さは 6 文字以上で、少なくとも1つの 小文字 (a-z)、1つの大文字 (A-Z)、および1つの数字 (0-9)を含める必要があります。	MyIseYPass2

(注) CLI でインストール中またはインストール後に管理者のパスワードを作成する際に、パスワード の最後の文字の場合を除いて文字「\$」を使わないでください。この文字が最初または後続の文字 にあると、パスワードは受け入れられますが、CLI へのログインには使用できません。

誤ってこのようなパスワードを作成した場合は、コンソールにログインし、CLI コマンドを使用 するか、ISE CD または ISO ファイルを取得して、パスワードをリセットします。ISO ファイルを 使用してパスワードをリセットする手順は、次のドキュメントで説明されています。 https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/identity-services-engine/ 200568-ISE-Password-Recovery-Mechanisms.html

セットアップ プログラムを実行すると、システムが自動的に再起動します。

これで、セットアッププロセスで設定したユーザ名とパスワードを使用して Cisco ISE にログインできる ようになります。

インストール プロセスの確認

インストールプロセスが正しく完了したことを確認するには、次の手順を実行します。

- **ステップ1** システムが再起動したら、ログイン プロンプトでセットアップ時に設定したユーザ名を入力し、Enter を 押します。
- ステップ2 パスワードプロンプトで、セットアップ時に設定したパスワードを入力し、Enterを押します。
- **ステップ3** アプリケーションが適切にインストールされていることを確認するために、show application コマンドを入力し、Enter を押します。 コンソールに次のメッセージが表示されます。

Build Date: Mon Jan 11 19:31:27 2016 Install Date: Tue Jan 12 14:35:24 2016

- (注) このリリースの別のバージョンでは、バージョンと日付が変更されている場合があります。
- **ステップ4** show application status ise コマンドを入力して ISE プロセスの状態を確認し、Enter を押します。 コンソールに次のメッセージが表示されます。

ise/admin# show application status ise

ISE PROCESS NAME	STATE	PROCESS ID
Database Listener	running	14586
Database Server	running	84 PROCESSES
Application Server	running	18537
Profiler Database	running	15998
ISE Indexing Engine	running	19731
AD Connector	running	23164
M&T Session Database	running	15898
M&T Log Collector	running	18671
M&T Log Processor	running	18585
Certificate Authority Service	running	22961
EST Service	running	30193
SXP Engine Service	disabled	
Docker Daemon	running	20399
TC-NAC Service	disabled	
Wifi Setup Helper Container	running	22582
Wifi Setup Helper Vault	running	42
Wifi Setup Helper MongoDB	running	15
Wifi Setup Helper Web Server	running	219
Wifi Setup Helper Auth Service	running	129
Wifi Setup Helper Main Service	running	165
Wifi Setup Helper WLC Service	running	203
pxGrid Infrastructure Service	disabled	
pxGrid Publisher Subscriber Service	disabled	
pxGrid Connection Manager	disabled	
pxGrid Controller	disabled	
PassiveID WMI Service	disabled	
PassiveID Syslog Service	disabled	
PassiveID API Service	disabled	
PassiveID Agent Service	disabled	
PassiveID Endpoint Service	disabled	
PassiveID SPAN Service	disabled	
DHCP Server (dhcpd)	disabled	
DNS Server (named)	disabled	

I

Cisco ISE のインストール